

つなぎあつて元気に

37

2012 夏号

平山光子後援会
 事務所 大牟田市原山町1-5
 0944-53-1661
 自宅 大牟田市倉永1651
 0944-58-1252
 メールアドレス
 mitsuko2007@tng.bbq.jp
 ホームページ
 www.mitsuko-hirayama.net



暑中お見舞い申し上げます
 さあ、夏祭り！夏本番！

市役所の正面にも夏祭りの看板



梅雨末期、九州は記録的な豪雨に見舞われ、大きな被害が出ました。被災地の皆さまには心からお見舞いを申しあげ、一日も早い復旧をお祈り致します。梅雨が明けると猛暑が待ち構えています。お身体ご自愛ください。

元気に水しぶき！

天領保育園の子どもたち
 大牟田市内で唯一の公立保育園です。今年6月から、休日保育が始まりました。利用登録制、事前の登録が必要です。



子どもを生き育てやすい環境が
 地域の振興に・・・

- 誕生祝い金
 - 第1子に十万円 第2子に二十万円と
 - 十万ずつ増え、第5子からは五十万円
- 子どもの医療費 中学生まで無料
- 保育料 半額補助
- 小中学校給食費 二千円補助
- チャイルドシート購入費を助成

これは、絵に描いた餅でも、どこかの実現しないマニフェストでもありません。大牟田市のお隣、**南関町の独自の支援策**です。住民・行政・民間が協議を重ね、環境の整った南関子ども丘保育園も造られました。それらが功を奏してか、少子化に歯止めがかかり、若い世代の移住が進んでいます。そのお隣の和木町でも、高校生まで医療費無料化するなど、小さい自治体が過疎化への危機感を持って定住自立策・少子化対策に頑張っています。



南関子ども丘保育園

大牟田市の子どもへの予算は・・・

子育てにかかる費用、独自の支援は？
 医療費 就学前の乳幼児に助成(3歳未満無料、3歳以上は保護者の所得により制限あり)
 保育料 同世帯の2人目は半額、3人目は無料
 学童保育 十七校区に設置 定員40名
 利用料 月額7000円、非課税世帯4500円、生活保護世帯2000円

教育予算は・・・長年、全体予算の6%前後、残念ながら驚くほどの少なさです。

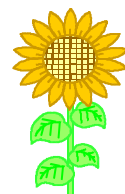
どの自治体を見てもこんなに低いところは見あたりません。校舎の外壁がひどい、雨もりがする、床がすべる、インク代紙代がない、猛暑の夏、せめて扇風機を等学校からは悲鳴が上がっています。(社会教育費も少なく、公民館等の備品も不十分、利用料増等、市民負担に繋がっています。)

福岡県近隣自治体教育予算比率

	H22	H23	H24
大牟田市	5.7%	6.1%	6.2%
みやま	11	10	12
筑後	8.6	7.6	8.1
久留米	10.4	9.8	9.8
小郡	12.2	11.8	13.4
柳川	7.1	8.1	10.8
太川	6.7	6.9	7.3
八女	7.1	7.6	7.2
荒尾	6	6.5	6.9

光子の部屋

2012 夏号



平山光子 2012.6月議会 代表質問の報告

1. 市長の市政運営とまちづくりの展望について

(1) 再生可能エネルギー政策の積極的な推進

脱原発と再生可能エネルギーへの転換を求める声が大きくなっています。7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」もスタートし、新エネルギー導入の動きが国や企業、自治体等で進んでいます。近隣市では太陽光発電システムや太陽熱温水器などへの市独自の支援が行われています。本市でも再生可能エネルギーの普及・拡大に向けてもっと積極的に取り組んで欲しいとして見解を尋ねました。

また、大牟田市長も脱原発を目指す首長会議への参加を検討することや、人と自然が共生していく地球の未来を考えた環境・エネルギー政策を地方からも発信していく時が来ているとして、更なる積極的な取り組みを要望しました。



(2) 未来を担う子どもたちへの支援

長年の歳出削減によって、本市の教育・子育てに関する予算は大変少なく、充実しなければならない課題がたくさんあります。

次の2点について質問・要望しました。

本市には児童館が一つもありません。計画中の(仮称)中心市街地にぎわい交流施設に児童館の設置をすることはできないか。

市長はずっと予算の枠配分を行ってきました。その結果、マニフェストに反して教育予算は低いままです。未来の担い手である子どもたちへの予算はしっかり確保すべきとして、南関町や福島県飯館村の例を挙げ、子どもへの手厚い支援が地域の振興に繋がる、予算に「子ども支援特別枠」を設け積極的取り組みではどうか。

市長と当局からは、についてはにぎわい交流施設の機能を充実したい、については、昨年度から設けている「まちづくり特別枠」の中で考えていきたいとの答弁がありました。

2. 教育行政について

(1) 学校給食の調理方式

学校教育の一環として給食の重要性が一層見直されている中、中学校の完全給食の実施(H27年度から)と、小学校給食調理の併用方式の試行(2学期から手鎌、銀水が調理民間委託開始)が進んでいます。本市の小学校給食は長年自校調理方式で行われてきました。その良さを継続し、安全でおいしい給食を今後も継続するよう要望しました。



(2) 不登校の実態と

スクールソーシャルワーカーの配置

不登校等、厳しい環境にある子どもたちの支援に有効として現場からも評価の高いスクールソーシャルワーカーの継続配置と増員を要望しました。また、諸々の教育環境充実のためにも「子ども支援特別枠」を設けることを強く要望しました。

3. 安全で住みよい住環境の整備

(1) 後退道路用地の管理と狭隘道路の解消

建築基準法第42条第2項で規定された後退道路用地(セットバック地)の維持管理のために、他市のように要綱等を定め、道路として管理する(寄附の場合は市が費用負担、しない場合は所有者が負担)必要があるとして早急の取り組みを要望しました。

4. 三池港の施設整備

(1) 航路照明と背後地整備

国の航路浚渫事業や利便性の向上等により輸入貨物取扱量が増えています。更なる大型船誘致や新規航路開設も可能になり、地域の振興が期待されています。そのために誘導灯や航路照明、新たな背後地整備等が早急に行われる必要があります。地元市としても県等に積極的に働きかけること要望しました。